

地域回覧用



小原中部小学校だより



令和8年1月29日

2025 第454号

文責 教頭 釜屋雄一

ぜひとも、学校
ホームページを
ご覧ください⇒



1/29 いじめゼロの学校づくりを求めて 2

♡保護者の皆様のご協力に心より感謝♡

前号で紹介したように、本校では、児童の心の変化を丁寧に把握するため、年間3回の「生活・いじめアンケート」や教育相談、職員によるいじめ・不登校防止対策委員会の開催など、全教職員が一丸となって未然防止に取り組んでいます。そして令和7年度も、いじめ発生件数ゼロを継続することができています。

その大きな要因の一つが、保護者の皆様のご協力です。

◆ご家庭での見守りとチェックが、早期発見と未然防止につながる

12月の個別懇談会に向けてお願いした「いじめのサイン発見チェックシート（保護者用）」では、朝・夕・夜の子どもの様子の変化、友人関係の変化、持ち物の異変、スマホ・ゲーム上のトラブル、など、保護者の方でしか気づけない“小さなサイン”を確認していただきました。

これらのチェック内容は、国のモデル（政府広報／文部科学省）を参考に作成しており、行動・情緒・生活の多方面から子どもを見る構成になっています。

また、学校からのメール配信を通してお伝えした「いじめチェックへのご協力のお願い」にも、保護者の皆様は真摯に対応してくださり、確認の上、不安な点があればすぐにご相談いただける体制ができます。

ご家庭でのこのような細やかな見守りは、学校だけでは気づけない兆候を早い段階で共有していただける、非常に大切な支えとなっています。

◆いじめゼロの実現・・・学校と家庭の協働の成果

学校では、アンケートや日々の観察から児童の様子をとらえています。保護者の皆様には、家庭での見守りやチェックシートの記入、気になる点の早期相談など、ご協力をいただいています。その結果として、令和7年度も、いじめ発生件数ゼロを継続することができます。

これは、学校と家庭が同じ方向を向いて子どもたちを支え合ってきた成果であり、教職員一同、深く感謝しております。

■ 今後も、安心して通える学校づくりを共に

いじめは、どの学校でも起こりうるものです。だからこそ、本校では「まず一人を救う」「新たな一人を出さない」という姿勢で、未然防止・早期発見に努めてまいります。

保護者の皆様には引き続き、「気になることがあれば、どんな小さなことでも学校へ相談する」という姿勢を大切にしていただければ幸いです。今後も、子どもたちが安心して笑顔で過ごせる学校づくりのために、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。